



札幌皮膚病理診断科では、患者様にも分かりやすい 病理診断書作りを目指しています！

- 病理写真を添付しているので、患者様への説明が具体的に行えます。
- 切除断端の判定や、臨床診断との比較も記載され、治療がよりスムーズに進みます。



診断の申込方法は2種類

1. ホルマリン固定検体にて依頼

ホルマリン固定された検体より高品質な標本を作製し、正確で迅速な病理組織診断を行います

- ・臨床医と密接な関係をつくり、患者様へのよりよりサービスを目指しています。
- ・病理診断書の内容について病理診断書作成医師が様々なお問い合わせやご相談に応じます。
- ・診断のために必要に応じて免疫染色や特殊染色を実施し、報告します。
- ・病理診断書は、通常生検後1週間以内にお手元へ届きます。

2. 病理標本にて依頼

院内に病理はあるので病理標本の作製はできるが、診断のみ当診断科に委託したいという場合に

- ・院外皮膚病理分門として、貴院で行われた皮膚生検検体の診断を一括でお引き受けいたします。
- ・一括でのご依頼なので、病理診断書の内容についての様々なご相談に素早く対応できます。
- ・臨床医と密接な関係をつくり、患者様へのよりよりサービスを目指しています。
- ・診断のために必要な免疫染色や特殊染色を指示します。
- ・病理診断書は、診断後すぐにFAX送信し、標本到着後3~4営業日後には原本がお手元へ届きます。

お問い合わせは、裏面の連絡先へ、電子メール、電話、ファックスでどうぞ

報告書見本

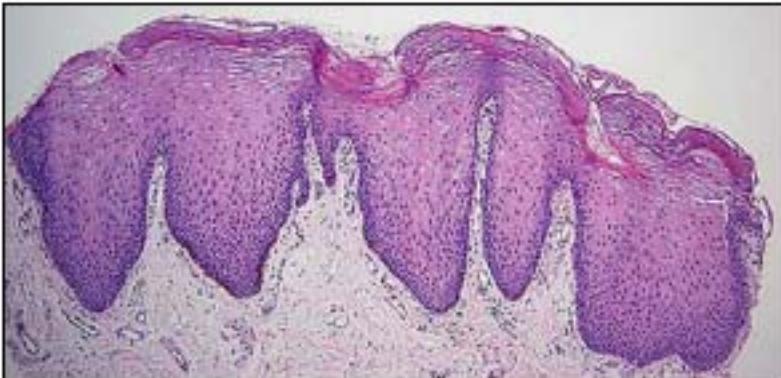
当診断科オリジナルレイアウト

病理診断書	
検査名	検査番号
部位	部位
性別	性別
年齢	年齢
性別	性別
<病理診断>	
病理組織学的診断: 高分化乳頭状癌	
<病理検査>	
免疫染色結果: P63陽性	
<病理研究>	
貴院から以下検体検出にかけて、検体検出の際の検査結果が多様化して検査を終了しています。	
注: 診断の結果は検査結果です。	
病理検査が検査結果: P63陽性と診断したことのある結果ですが、病理組織学的診断結果: 高分化乳頭状癌することも可視は検査です。	
検査を可能な限り行います。切削標本の平均厚さは、組織が完全にとりきているかどうか判断して下さい。	
病理検査がおこなわれる場合は全切削標本で病理組織検査が検査され、	
	
Sapporo Dermatopathology Institute 札幌皮膚病理診断科 Tel. 011-704-0400 Fax. 011-704-0401 http://www.sapporo-dp.com	

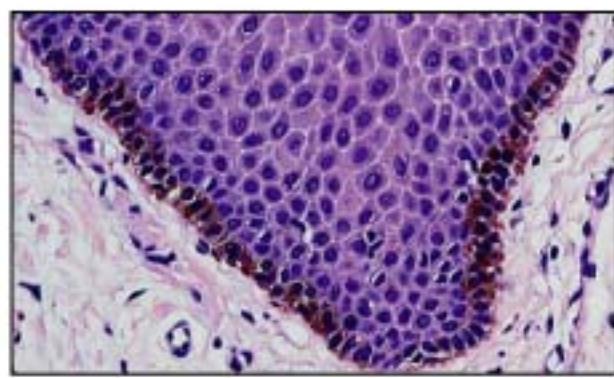
7月19・20日 第10回皮膚病理講座 基礎編を神戸で開催しました

本講座開始以来、初めての神戸での開催だったため、定員を上回るたくさんの方にご参加いただきました。会場となりました神戸大学医学部大講義室では、専門医試験対策として参加される先生も多く、集中的な講義が行われました。「知識の整理ができた」とたくさんの感想もいただいております。ご参加いただき、ありがとうございました。11月には診断編を、基礎編も来年また開催予定です。ぜひご参加ください。





粘膜上皮が肥厚し、先端部に色素性病変が形成されている。



色素細胞様細胞が胞巣を形成することなく増加しており、メラニン沈着も目立つ。

皮膚病理俱楽部

NPO法人 皮膚病理発展推進機構と、札幌皮膚病理診断科では、皮膚病理が学べるコミュニティを運営しています。

入会して、ID・パスワードを入手すると、様々なコンテンツが閲覧でき、皮膚病理を学ぶことができます。
公開中のコンテンツはこちら→

皮膚病理図鑑
各症例の色々なパターンを紹介しています。
所見の確認をしながら、診断の根拠を探ることができます。



本日の症例・
Virtual slides Box
典型症例を日替わりで紹介、アノテーション機能で所見の解説つきです。過去の症例はslide Boxに保管されいつでも閲覧できます。



Dr高橋コレクション
消化管疾患に伴って出現する皮膚症状を紹介しています。
会員からの情報を掲載するスペースもあります。



さらにコンテンツも拡充の予定です。
どうぞお楽しみに



入会はホームページから

<http://www.npo-jdpo.org/dermpath-club/dermpathclub-top.html>

セミナー情報

皮膚病理講座

検索

お申込みはホームページからが便利です

さらに詳しく皮膚病理診断学を学びたい方にはこちら！

第2回 皮膚病理講座 診断編 「皮膚病理診断への第一歩」（東京）

日 時 2009年11月22日（日）10時～17時 11月23日（月祝） 9時～16時

会 場 日本医科大学 第3講堂（教育棟3階）

- ・各種皮膚疾患の病理組織像を理解する。
- ・皮膚病理診断学の3要素、診断基準項目、診断のてがかり、そして鑑別診断を具体的に把握する。
- ・「絵あわせ診断法」のために必要な病理組織像を覚え、「パターン分類とアルゴリズム分析診断法」を理解する。

発行：札幌皮膚病理診断科

〒001-0018 札幌市北区北18条西3丁目2-21 TEL: 011-756-4810 FAX: 011-756-4842

e-mail: office@sapporo-dermpath.com website: <http://www.sapporo-dermpath.com> 編集担当：高野 敦子